

科目名	開講時期	必修・選択	科目区分	単位（時間）	科目責任者	
成人看護学方法論Ⅲ	2年次 後期	必修	講義	1単位（30時間）	岩谷 正美 ※	
授 業 概 要						
成人期にあり、高次脳機能障害、運動・感覚機能障害、免疫機能に障害を持つ患者と家族の特徴を理解し、機能障害の受容と生涯にわたるセルフコントロール、社会復帰への看護について学ぶ。						
到 達 目 標						
1. 健康障害・機能障害が患者及び家族の健康と生活に及ぼす影響を理解し、援助方法を述べる。 2. 健康障害・機能障害の受容の段階を理解し残存機能を最大限に活用するための援助方法を述べる。 3. 健康の回復に向けて患者が自己管理できるための援助方法を述べる。						
回	学 習 内 容				担当教員	
1-4	1. 運動機能障害を持つ対象の看護 1) 運動器疾患の主な症状と看護 2) 検査・治療を受ける患者の看護 3) 骨折・四肢切断・腰椎椎間板ヘルニア・脊髄損傷患者の看護				岩谷 正美 ※ 外部講師 外部講師	
5-9	2. 意識障害・高次脳機能障害を持つ対象の看護 1) 脳神経疾患の主な症状と看護 2) 検査・治療を受ける患者の看護 3) 脳血管障害患者の看護 4) 脳血管障害患者のリハビリテーション看護					
10-11	3. 免疫機能障害を持つ対象の看護 1) アレルギー・自己免疫疾患の主な症状と看護 2) 検査・治療を受ける患者の看護 3) 膠原病患者の看護 ステロイドパルス療法、持続投与を受ける患者の看護					
12-13	4) 白血病で化学療法・放射線療法・骨髄移植を受ける患者の看護					
14-15	4. 感染症を持つ対象の看護 1) 免疫不全（A I D S）患者の看護					
学 習 方 法						
限られた時間で多くの内容を行うので、学習内容に関連する既習の知識については自己学習、事前学習が必要である。教科書以外にも関連する文献や各種メディア等から最新の情報を得て幅広い視点で理解を深めていくことが望ましい。						
評 価 方 法						
〔評価方法〕 小テスト・科目修了試験及びレポート。 評価の詳細は講義の初回に提示する。						
先 修 科 目						
なし						
教科書、参考書						
〔教科書〕						
系統看護学講座	専門分野Ⅱ 成人看護学 [4]	血液・造血器	飯野京子 他	医学書院		
系統看護学講座	専門分野Ⅱ 成人看護学 [7]	脳・神経	竹村信彦 他	医学書院		
系統看護学講座	専門分野Ⅱ 成人看護学 [10]	運動器	加藤光寶 他	医学書院		
系統看護学講座	別巻 リハビリテーション看護		武田宣子 他	医学書院		
系統看護学講座	専門分野Ⅱ 成人看護学 [11]	アレルギー・膠原病・感染症	岩田健太郎 他	医学書院		
新体系看護学全書	経過別成人看護学③	慢性期看護	黒江ゆり子 編	メヂカルフレンド社		
新体系看護学全書	経過別成人看護学②	周術期看護	明石恵子 編	メヂカルフレンド社		
看護過程に沿った対象看護	病態生理と看護のポイント		高木永子 監修	学研		
今日の治療薬	解説と便覧	浦部晶夫 他 編	南江堂			
厚生指標	国民衛生の動向	厚生統計協会				
検査値	早わかりガイド	江口正信 他	サイオ出版			
フィジカルアセスメントガイドブック	山内豊明		医学書院			